

備前市事務事業評価表

(平成18年度事業)

事務事業名	出産祝金事務	コード	06-01-16-04
		担当課・係	市民課・市民係
事業実施期間	昭和18年度～		
	担当者	西角桂子	
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり	
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行財政運営	
	小項目(施策)	その他事務管理	
		電話	0869-64-1818

事業について	
目的 (何のために)	新たに市民となった新生児の出産を祝福し、新生児の父又は母に対し出産祝金を支給することを目的とする。
対象 (誰・何を対象に)	旧日生町及び旧吉永町に居住し、出産によって父または母となった者としていたが、平成18年度からは市内に居住し、出産によって父又は母となった者とし全域対象とした。
内容	出産日前2箇月以上市内に居住し、出産の日後引き続き市内に居住する意志を有し、かつ、住民基本台帳又は外国人登録台帳の規定により、本市に登録されている者に支給する。 支給の対象者が、出産祝金の支給を受ける際に死亡しているときは、遺族に支給する。 支給額は、新生児1人につき10,000円

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
祝金支給人数		249人	
日生	41人		
吉永(第2子)	8人		
(第3子以降)	10人		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,620	国庫補助金等		直接事業費	2,490	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	629	受益者負担		人件費	1,389	受益者負担		人件費		受益者負担	
			市債				市債				市債	
	合計	3,249	一般財源等	3,249	合計	3,879	一般財源等	3,879	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.12人	0.18人	
結果指標名	出産祝金支給事務	出産祝金支給事務	
結果指標量	59	249	
単位	人	人	
対前年比	-	422.03%	0.00%
活動にかかるコスト	2,620,000円	3,879,000円	
単位当たりコスト	44,407円	15,578円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	給付要件該当者に対して祝金を支給することにより、少子化対策の一貫である出生率の向上		
成果指標名	祝金支給率	式又は説明	申請者数/(H18出生届数-要件非該当者数)
成果指標量	17年度 100%	18年度 96%	
対前年比	-	96.00%	0.00%
到達目標値	100	到達目標年度	条例 廃止 平成21年3月31日

事務事業の評価		
目的・対象・内容の 妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等: 備前市出産祝金支給条例
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の 評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の 評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えて目的・対象の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値 結果指標量 成果指標量	結果指標量	

総合評価	平成20年度をもって条例の効力を失う事業なので、要件該当者の支給漏れのないよう対応していくこと。	評価区分 <A~E> C
------	--	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	--	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果